



# HOKKAIDO UNIVERSITY

|                  |                                                                                   |
|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| Title            | 佐々木隆生教授 主要研究業績                                                                    |
| Citation         | 経済学研究, 58(3), iii-iv                                                              |
| Issue Date       | 2008-12-11                                                                        |
| Doc URL          | <a href="https://hdl.handle.net/2115/35091">https://hdl.handle.net/2115/35091</a> |
| Type             | other                                                                             |
| File Information | kenkyu-gyoseki.pdf                                                                |



## 佐々木隆生教授 主要研究業績

### 著 書

1. 『国際資本移動の政治経済学』藤原書店 277 頁 1994 年 12 月。

### 編 著

2. 『構造変化と世界経済』(村岡俊三と共編)藤原書店 369 頁 1993 年 5 月。
3. 『ヨーロッパ統合の脱神話化』(中村研一と共編)ミネルヴァ書房 263 頁 1994 年 12 月。

### 論 文

4. 「「自由主義段階」におけるイギリス資本輸出」『研究年報経済学』(東北大学) 34(3・4) 1973 年 8 月。
5. 「現代資本輸出研究の再検討」『世界経済評論』 18(9) 1974 年 9 月。
6. 「帝国主義段階におけるイギリス資本輸出の特質」『研究年報経済学』(東北大学) 38(2) 1976 年 10 月。
7. 「資本輸出研究序説」『経済学研究』(北海道大学) 27(3) 1977 年 8 月。
8. 「資本輸出研究序説」(続)『経済学研究』(北海道大学) 27(4) 1977 年 10 月。
9. 「資本輸出研究序説」(完)『経済学研究』(北海道大学) 28(1) 1978 年 3 月。
10. 「世界経済論の方法に関する覚書」『経済学研究』(北海道大学) 29(1) 1979 年 3 月。
11. 「戦後国際経済関係再編成の構想と原理——戦後国際経済関係再編成の基本論理」(1)『経済学研究』(北海道大学) 30(2) 1980 年 6 月。
12. 「日米「経済摩擦」と国際経済関係の再編成」『世界経済評論』 25(6) 1981 年 6 月。
13. 「資本輸出と国際貿易」 中川信義, 久保新一編『国際貿易論』 有斐閣 1981 年 12 月。
14. 「日米経済摩擦の現局面について」『産業経営研究所論集』(札幌大学) 2 1983 年 3 月。
15. “World Market and Capital Export,” *Hokudai Economic Papers*, 12, 1983.7.
16. 「『経済学批判』のプラン後半体系をめぐる論争」 村岡俊三, 木下悦二編『国家・国際商業・世界市場』 有斐閣 1985 年 8 月。
17. 「戦後国際経済関係再編成と「国際協力」——戦後国際経済関係再編成の基本論理」(2) 『経済学研究』(北海道大学) 35(3) 1986 年 1 月。
18. 「戦後国際経済の政治経済学」 藤田勇編『権威的秩序と国家』 東京大学出版会 1987 年 2 月。
19. 「ブレトン・ウッズ体制について」『信用理論研究』 5 1988 年 6 月。
20. 「アメリカ合衆国対外経済政策の現局面と「国際協調」」『北日本漁業』 18 1988 年 11 月。
21. 「国際価値論序説」『経済学研究』(北海道大学) 39(2) 1989 年 9 月。
22. 「経済学原理と近代国民国家——近代国民国家の政治経済学」(1)『経済学研究』(北海道大学) 39(3) 1989 年 12 月。
23. 「近代社会の普遍性と国民性——近代国民国家の政治経済学」(2)『経済学研究』(北海道大学) 40(1) 1990 年 6 月。
24. 「リカードイアン国際価値論と資本輸出」『経済学研究』(北海道大学) 41(3) 1991 年 12 月。
25. 「リカードウ型国際価値論と貨幣による価格表現」『研究年報経済学』(東北大学) 55(4)

1994年1月。

26. 「多数財リカードウ型モデルと国際資本移動」『経済学研究』(北海道大学) 45(1) 1995年5月。
27. 「ステイトとネイション(1)——近代国民国家と世界経済の政治経済学」『経済学研究』(北海道大学) 47(2) 1997年9月。
28. 「ステイトとネイション(2)——近代国民国家と世界経済の政治経済学」『経済学研究』(北海道大学) 47(3) 1997年12月。
29. “International Division of Labour and Capital Export in a Ricardian Model,” *Economic Journal of Hokkaido University*, 27, 1998.7.
30. 「ステイトとネイション(3)——近代国民国家と世界経済の政治経済学」『経済学研究』(北海道大学) 48(3) 1999年1月。
31. “Alternanza tra particolarità e universalità: un’interpretazione dell’economia giapponese postbellica,” *Capire il Giappone*, Franco Angeli, 1999.
32. 「ステイトとネイション(4)——近代国民国家と世界経済の政治経済学」『経済学研究』(北海道大学) 50(1) 2000年6月。
33. 「ステイトとネイション(5)——近代国民国家と世界経済の政治経済学」『経済学研究』(北海道大学) 50(2) 2000年9月。
34. 「ステイトとネイション(6)——近代国民国家と世界経済の政治経済学」『経済学研究』(北海道大学) 51(3) 2001年12月。
35. 「開放された純粋労働経済体系とマクロ経済均衡」『経済と経営』(札幌大学) 32(4) 2002年3月。
36. 「ステイトとネイション(7)——近代国民国家と世界経済の政治経済学」『経済学研究』(北海道大学) 52(3) 2002年12月。
37. 「グローバル・エコノミーと世界不況—不況と構造変化に関する覚書」『国際経済』 54 2003年7月。
38. 「ステイトとネイション(8)——近代国民国家と世界経済の政治経済学」『経済学研究』(北海道大学) 54(2) 2004年9月。
39. 「ステイトとネイション(9)——近代国民国家と世界経済の政治経済学」『経済学研究』(北海道大学) 54(3) 2004年12月。

## 翻 訳

40. 「L.L. パシネッティ『構造変化の経済動学』」日本経済評論社 1998年2月。

## 書 評

41. 「林直道『国際通貨危機と世界恐慌』」『東北大学新聞』 1972年5月30日。
42. “The 1940 System: Farewell to the Wartime Economy,” by Noguchi Yukio, “The Postwar Japanese Economy” by Hashimoto Juro, and “The Culture of Japanese-Style Capitalism: The Structure of Wealth and Power” by Sakakibara Eisuke, *The Japan Foundation Newsletter*, 23(3) 1995.12.
43. 「佐藤秀夫『国際経済の理論と現実』」『世界経済評論』 47(2) 2003年2月。
44. 「萬谷迪『世界開発と南北問題』」『図書新聞』 2704 2004年12月4日。